



つづく つながる 夢を育てる学び舎
国立二小だより

令和7年(2025年)6月27日

国立市立国立第二小学校

校長 内田 辰彦

一学期の終わりとして

校長 内田 辰彦

今月の4日から6日に6年生が日光移動教室にいきました。梅雨に入る直前の時期だったので、3日間ともによい天候で、日光のシンボル男体山を3日間ともにくっきりと見ることができました。

6年生の1人1人が楽しみにしていた移動教室なので、どの子も楽しさを味わえるような3日間の過ごし方が必要だと考えました。そこで、出発の際に6年生に向けて「自由の相互承認」という話をしました。私は自由にしたい、あなたも自由にしたい。私の自由とあなた自由は同時に認められることもあれば、どちらかは自由にならないこともあります。自分の自由だけを相手に認めさせるのではなく、自分の自由と同じだけ相手の自由も認めていくことが大切です。楽しみ方も同様で、自分が楽しいだけでなく、相手やみんなが楽しくなるように、相互に楽しさを認め合っていくと、どの子も楽しさをきっと味わうことができます。自由の相互承認という考え方で3日間過ごしていきましょう、と話しました。6年生は、行動班で活動したり、生活班で活動したりするときによく話し合ったり相談したりして、どの子も楽しめるようにしている姿がたくさん見られました。そして自分たちの楽しい思い出を支えてくれている、ホテルの方や観光施設の方にも感謝する態度がたくさん見られ、挨拶や感謝の言葉で示していたところとても素晴らしいと感じました。

6月も終わり7月を迎えます。7月の後半は夏休みに入ります。二小では毎年夏休みに「二松クラブ」を行っています。この二松クラブは体験活動のサマースクールです。二小育成会と連携して毎年行ってきました。今年度はコミュニティ・スクールとなり、育成会と連携しつつ地域学校協同活動の一つとして位置付けて運営していきたいと考えています。今年は27講座が開設されます。スポーツ系のもの、音楽系のもの、モノづくりに関するもの、環境に関するもの、学びに関するものなど様々な講座があります。

この講座を担当してくださるみなさんは、育成会の方、保護者の方、元保護者の方、地域の方や、これまで育成会や二小とのかかわりの中で二松クラブの趣旨に賛同してくださった方々など、多岐にわたる皆様がボランティアとしてご協力いただき、講座を開設していただいています。大変ありがたく、二小の大きな支えであると感じています。今年度からコミュニティ・スクールになったことを機に、ご協力いただいている皆様とは地域学校協同活動の一員としてもかかわっていただくことができれば、さらに大きな支えになってもらえると考えています。

現在、二松クラブの募集をしています。大勢の子どもたちが参加し、貴重な体験を楽しむことができるといいなと考えています。今学期の成果を確認し、しっかりと締めくくりをして夏休みを迎えたいと思います。

